



## 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター  
（奈良県保健環境研究センター内）  
**N a r a I D S C**



### ● 今週の概要

■ 今週の感染症情報

■ 気になる話題～インフルエンザ⑧～ 



（調査週） 平成 24 年 第 8 週 2 月 20 日（月）～2 月 26 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況

（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	インフルエンザ	17.67	→～↓	→～↓	→～↓	↓
2	感染性胃腸炎	5.43	→	→～↓	→	→～↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.71	→	→	→～↓	↓
4	水痘	0.46	→～↓	↓	→	→～↓
5	RS ウイルス感染症	0.31	→～↓	↓	→	→～↓

※インフルエンザ定点あたり報告数は、全県で警報レベル継続中です。

[警報開始基準値は 30.00、警報終息基準値は 10.00]

**県北部地区概況** 報告数は 554 例で、前週報告の 736 例から 2 週連続の減少。上位 5 疾患は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③A 群溶連菌咽頭炎、④水痘、⑤流行性耳下腺炎の順。流行性耳下腺炎の報告数（5 例）は、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（573→434 例）は、減少。感染性胃腸炎の報告数（82 例）も、減少。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（18 例）は、やや減少。水痘の報告数（6 例）も、やや減少。なお、インフルエンザ定点からの報告の内訳《（ ）内は定点当たりの報告数》は、奈良市 HC 管内；193 例（17.55）、郡山 HC 管内；241 例（15.06）で、両管内共に 3 週連続での減少。郡山 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎が 1 例報告された。郡山 HC 管内基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎の報告が 1 例（1～4 歳児）あった。（村井 記）

**県北部外来状況**：インフルエンザの流行は、第 5 週（1/30-2/5）をピーク（95 人/週）に減少したが、40 人前後/週が続いている。A 型は減少したが B 型が増加してほぼ 1：1 程度になっている。今シーズンは 12 月より B 型が 5-10% 検出されていたので、A 型と B 型の両方に 2 回感染している例や家族で来院して A 型ともう一人は B 型という例が例年より多くなっている。感染性胃腸炎は増えていない。

（矢追 記）

**県中部地区概況** 報告数は、第 7 週の 804 例から第 8 週は 580 例に減少した。上位の 5 疾患（第 7 週→第 8 週）は、①インフルエンザ（658 例→447 例）、②感染性胃腸炎（109 例→95 例）、③水痘（7 例→8 例）、④咽頭結膜熱（2 例→7 例）、⑤RS ウイルス感染症（6 例→6 例）＝A 群溶連菌咽頭炎（16 例→6 例）＝突発性発疹（3 例→6 例）の順であった。インフルエンザは今年の 4 週、5 週がピークで、その後漸減し 8 週も 7 週より減少した。眼科定点からは、流行性角結膜炎 3 例（桜井 HC より 1 例、葛城 HC より 2 例）の報告があった。基幹定点からの報告はなかった。  
（徳田 記）

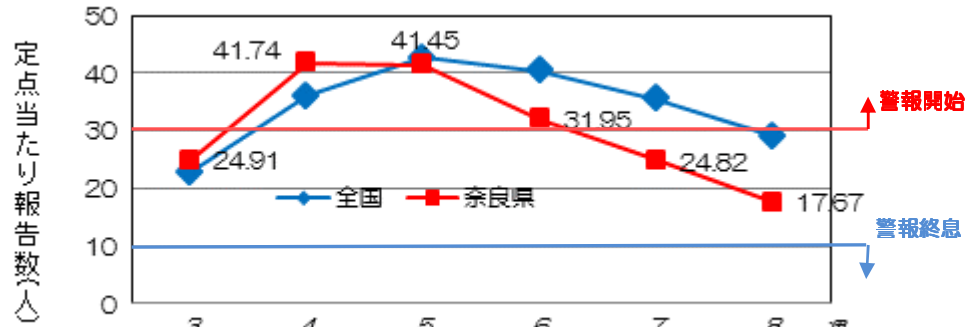
**県中部外来状況**：外来数はインフルエンザの減少に伴いやや減少傾向。インフルエンザは前々週頃より減少してきた。B 型が増加し始め A、B 型が同じ程度の流行となった。いずれも軽症で、重症例はなかった。今冬は予防接種済みの罹患例が多かった印象。高熱例でアデノの流行もある模様。陽性判定が出にくいのか、確定例はなかった。感染性胃腸炎の流行が続き、多くは嘔吐が主のノロウイルス様、軽症で輸液を必要とする例は殆どなかった。ロタウイルスが 1 例のみあった。RS 気管支炎様は減少、他に水痘がわずか。  
（岡本 記）

**県南部地区概況** 報告数（第 7 週→第 8 週）は 154 例→112 例と減少。報告のあった疾患は①インフルエンザ（135 例→91 例）、②感染性胃腸炎（8 例→13 例）、③RS ウイルス感染症（4 例→4 例）、④水痘（2 例→2 例）、⑤A 群溶連菌咽頭炎（1 例→1 例）、⑥伝染性紅斑（0 例→1 例）であった。  
（柳生 記）

**県南部外来状況**：外来数は減少した。第 4～第 5 週で大ブレイクしたインフルエンザも以後週を追うごとに急減しているものの、第 8 週ではまだ終息基準値を上回って多数見られた。A 型その他、B 型が半数で増加、今シーズン A、B 両方に罹患した者もちらほら見られるようになった。感染性胃腸炎は多くない。ロタは見られず。その他は溶連菌感染症、水痘が僅かに見られたのみ。  
（山本 記）

【気になる話題 ～インフルエンザ⑧～】

奈良県の第8週（2/20～2/26）の定点当たり患者報告数は、17.67人と減少傾向が続いていますが、警報レベルは継続しています（警報終息基準値：10.00）。引き続き、うがいやマスクで喉の湿度を保ち、感染防止につとめてください。



※奈良県定点当たり報告数のみ数値を記載

図. インフルエンザ定点当たり報告数の推移

表. 保健所別定点当たり報告数

調査週	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	県合計	全国
第8週 (1/30~2/4)	17.55	15.06	18.27	22.36	10.67	19.67	17.67	29.04
第7週 (2/13~2/19)	20.73	21.50	29.27	30.55	20.67	24.33	24.82	35.44
第6週 (2/6~2/12)	31.36	27.56	29.91	41.82	37.67	23.00	31.95	40.34
第5週 (1/30~2/5)	39.73	39.25	35.55	55.45	39.67	31.67	41.45	42.62
第4週 (1/23~1/29)	34.64	41.75	32.36	58.64	42.00	39.33	41.74	35.95
第3週 (1/16~1/22)	17.36	26.44	19.73	32.09	17.00	45.00	24.91	22.73

：警報レベル      ：注意報レベル

（感染症情報センター 記）